



# 翼

つばさ



No. 8

「翼」地域コミュニケーション誌

UBE

2016年6月

(発行予定：6月と12月の年2回)

- 宇部興産物語
- グループ会社紹介
- 環境安全部より
- 社会貢献
- 地域の顔
- 工場製品
- クラブ紹介
- 社員登場
- おしらせ

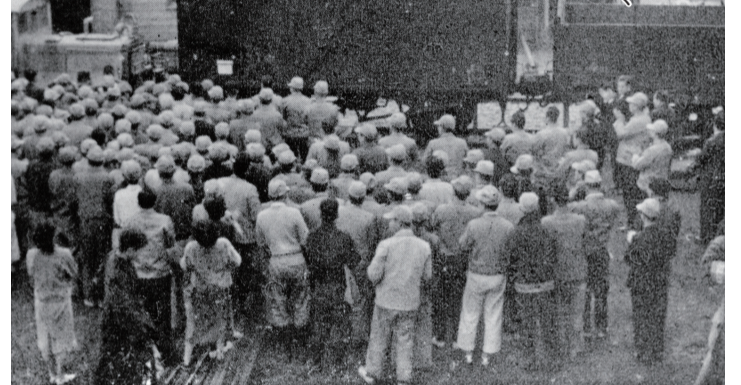
発行：  
〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96  
宇部興産株式会社 宇部渉外部  
(電話 0836-31-2111)



## 写真で振り返る「宇部興産物語」

### カプロラクタムへの進出

新しい窒素系肥料である尿素の工業化を検討していた頃の昭和29(1954)年1月、三和銀行(現・三菱東京UFJ銀行)から「日本レイヨン社(現・ユニチカ(株))がスイスのインベンタ社と提携してナイロンの工業化を検討している」との連絡があった。その原料であるカプロラクタムを生産して欲しい」との要請が来ました。新しい成長性のある分野への進出を考えていたUBEの首脳陣は、1時間あまりの会議でこれを決断。伊佐にセメントの新工場を建設する予定があり、宇部窒素工場ではアンモニアの拡大と合理化を進めるなかでのさらなる大型投資でした。写真はそれから2年後のこと。専用側線沿いの出荷設備から96トンのカプロラクタムが、日本レイヨン宇治工場に向け出荷されました。



カプロラクタムの初出荷

## 環境安全部より 万が一に備えて 常に訓練を重ねる ケミカル防災隊

宇部ケミカル工場では石油コンビナート等災害防止法に基づき、事業所従業員で組織された自衛防災組織である「ケミカル防災隊」を設置しています。普段は生産や事務などの業務についている従業員が、災害発生時には直ちに防災のための対応を取って被害を最小限に食い止めます。

工場では災害を起こさないようさまざまな防災対策を講じていますが、大地震など事前対策では防ぎきれない災害も起こります。不運にも緊急事態が発生した際には、工場内で働く人々の人命の保護はもちろん、近隣住民のみならずご不安を与えるような事態に発展しないよう、効率的な防災活動を行うための方策を講じています。災害が発生した場合には消防隊や救助隊、オイルフェンス展開等を行う機動的に活動する体制が整えられています。その要ともいえるのが「消防隊」です。消防車は宇部ケミカル工場内の各職場から選出されたメンバーで隊員を構成し、火災発生時には発災現場に駆けつけて消火活動を行います。的確な放水は初期消火に非常に重要です。1回2時間の訓練を毎月繰り返し、行動を身体で覚えると共に、訓練で見つかった問題点につ



数階建ての建物に匹敵する高さで水のカーテンを展開する水幕放水訓練風景

て検討を加え、次回の訓練に生かすなど、有効な防災活動を検討するよう日々努めています。

また、定期的に災害を想定した訓練も実施しており、最近ではパイプの接続部分から化学物質が漏れ出し、ガス検知器から警報が出たという想定で訓練を行いました。このときには、出勤から周辺従業員の避難誘導、反応の緊急停止訓練や二次災害防止のための水幕放水訓練(写真)を実施しました。

ここ数年は山口県内で大きな工場災害が連続して発生しております。それら他山の石とし、他社で起きた災害は当社にも起こりうることに常に考え、一歩先の防災体制を築いています。

### 工場の製品を紹介

## 宇部セメント工場

宇部興産は国内第4位のセメントメーカーで、年間約660万トンのセメントを生産しており、生産したセメント、クリンカー(セメントの中間製品)を全量、当社と三菱マテリア(株)との共同出資会社である宇部三菱セメント(株)へ販売しています。

今回は、セメントができるまでの工程と、宇部三菱セメント(株)で販売されている製品の一部をご紹介します。

## セメントってこんなにエコなんです!



### そもそも「セメント」ってなに?

水を加えることで化学反応を起こして固まる灰色の粉末で、接着剤のようなものです。家やビル、道路や橋やダムを造るときにはセメントに砂利と砂と水を混ぜて使います。

- Q** 1年間発生する国内の廃棄物量と、宇部興産のセメント工場での処理している廃棄物量は?
- A** 日本では毎年約4億トン以上の廃棄物が発生していて、宇部興産のセメント工場(宇部・伊佐・刈田)では、年間300万トン以上の廃棄物・副産物の処理を行い、循環型社会の形成に貢献しています。
- ここがすごいんです!**
- ① ほとんどの廃棄物を活用!
  - ② キルンの中は、一四五〇℃!
  - ③ ゴミは一切残りません!
  - ④ 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を削減!
  - ⑤ 自然環境保護に貢献します!
- ほとんどの廃棄物の成分は、セメント成分に近いためセメント原料として、または熱エネルギー代替廃棄物として利用できます。
- セメントキルンは、一四五〇℃の高温で焼成されるので、通常の焼却炉では対応できない廃棄物を分解し無害化することができます。また、大量の廃棄物を長期的かつ安定的に処理できます。
- セメントキルンで焼成された灰は、そのままセメントに取り込まれるので、最終処分する必要がありません。
- もともと埋立や単純焼却で処理されてきた廃棄物を、セメント工場で熱エネルギーとしてリサイクルすることで、石炭の使用量が減ります。その結果、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の発生を抑制できます。
- 廃棄物をリサイクルすることで、もともと使用していた天然原料の使用量を減らし、資源の採掘量を抑えます。

## みんなとこころに使われています!

### 「普通ポルトランドセメント」

最も一般的な種類で、私たちが普段「セメント」という場合には、このセメントを意味します。それだけに用途も一般の土木(道路、港湾、上下水道等)、建築(集合住宅、事務所、学校等)を始め、コンクリート製品や左官製品と各方面に幅広く利用されています。ポルトランドという名称は、固まってからの表面が、イギリスのポルトランド島で採れるポルトランド石に似ていることが由来とされています。



### 「早強ポルトランドセメント」

早強ポルトランドセメントは、普通ポルトランドセメントに比べて、短期間で高い強度を発現するセメントです。普通ポルトランドセメントでは3日要する強度を、わずか1日で得ることができます。しかも、長期にわたって強度が持続することから、緊急工事や寒冷期工事、各種コンクリート製品などにも最適です。宇部興産の確かな焼成技術と生産設備を生かして、優れた早期強度を実現します。



## セメントができるまで

